

第34回 全日本自閉症支援者協会 研究大会(滋賀WEB大会)

第3分科会

「風水害の報告 (社会福祉法人けやきの郷 浸水被害)」

令和3年12月9日

社会福祉法人けやきの郷

(初雁の家施設長/障害者相談・地域支援センターけやきセンター長)

水野努

内容

1. 「社会福祉法人けやきの郷」 浸水被害の状況

- ・浸水被害の実際
- ・浸水後の避難生活、復興までの経過 など

2. 「被災体験」を通じて考えたこと・・・

- ・「命」を守ること
- ・「避難生活」を支えること など

社会福祉法人けやきの郷

- 所在地・・・埼玉県川越市(市内北西部に位置する)

※「川越市」は人口35万人を超える「中核市」です

※「全日本自閉症支援者協会」の「第33回全国大会」を

「埼玉大会」として「令和元年11月」に、「川越市」で開催

させていただきました。



働く

やまびこ製作所

(生活介護事業)

- ・木製パレットの製作&修理&販売

初雁の家

(障害者支援施設)

- ・古紙リサイクル作業
- ・パンと焼き菓子の製造&販売
- ・鉄道模型の部品組立て
- ・空き缶のリサイクル

グループホーム

(共同生活援助)

- ・潮寮 ・第2潮寮
- ・しらこぼとの家 ・七草の家
- ・あかつき寮

ワークセンターけやき

(多機能型事業所)

- ・仕出し弁当製造&販売
- ・季節の野菜&果物を生産
- ・老人保健施設での委託清掃)
- ・古紙リサイクル作業

埼玉県発達障害者支援センター 「まほろば」

- ・埼玉県委託事業

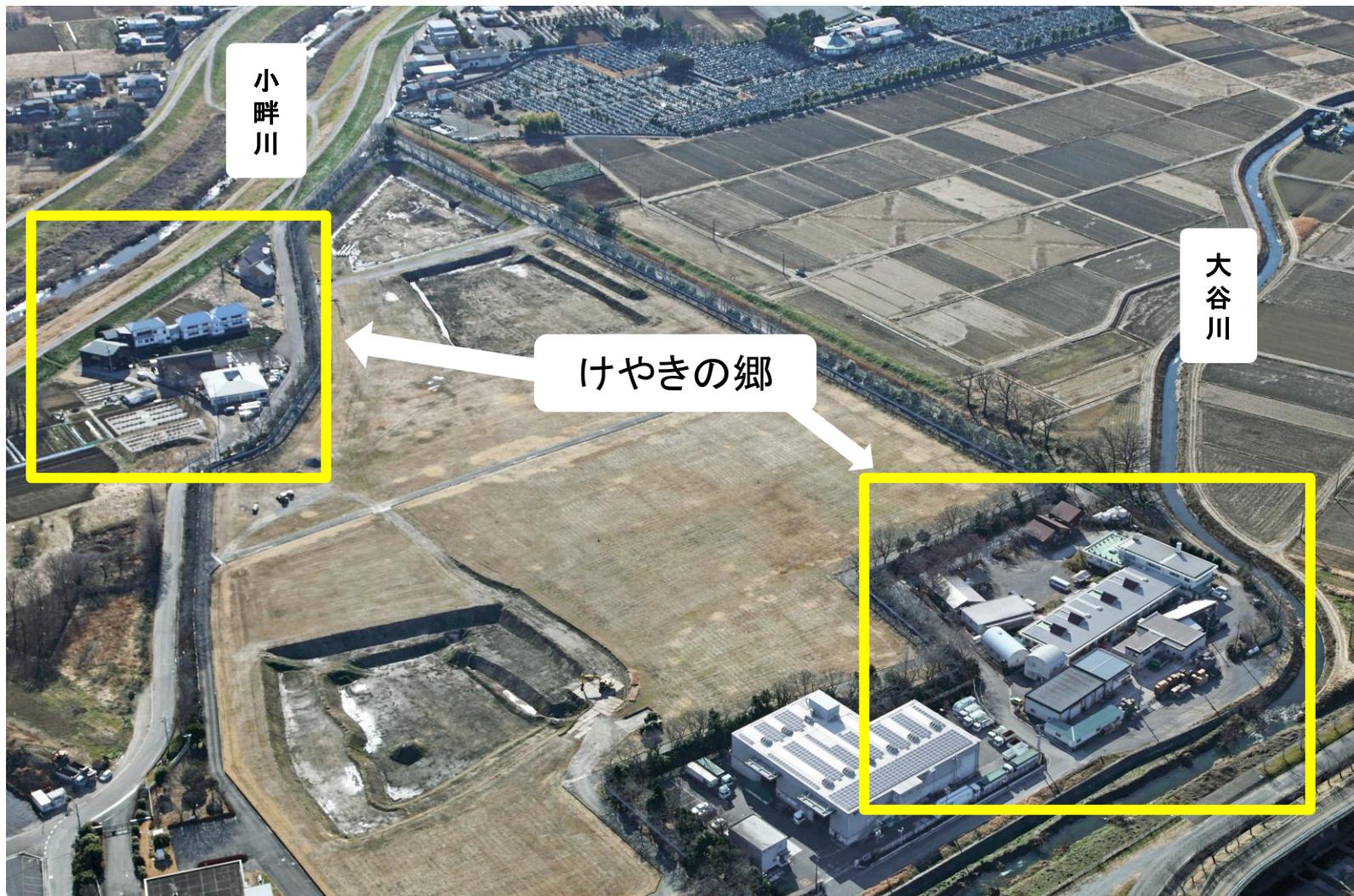
障害者相談・地域支援センター けやき

- ・川越市障害者等相談支援事業、相談支援
- ・短期入所事業

暮らす

支える

社会福祉法人けやきの郷



台風19号(令和元年東日本台風)

- 令和元年10月12日(土)～13日(日)

10月12日(土曜日)19時前に「静岡県伊豆半島」に、大型で強い勢力のまま上陸。
その後、関東地方を縦断。

- 降水量(令和元年10月10日19時～12日24時)

687.0 mm: 埼玉県秩父市 浦山地点

604.5 mm: 埼玉県比企郡ときがわ町 ときがわ地点

408.5 mm: 埼玉県飯能市 飯能地点

362.0 mm: 埼玉県所沢市 所沢地点

☆台風接近の前から雨は降り続き、周囲の河川の水位は増え始めていた
☆「けやきの郷」では、12日(土)の日中に避難等も含めた対策を実施した

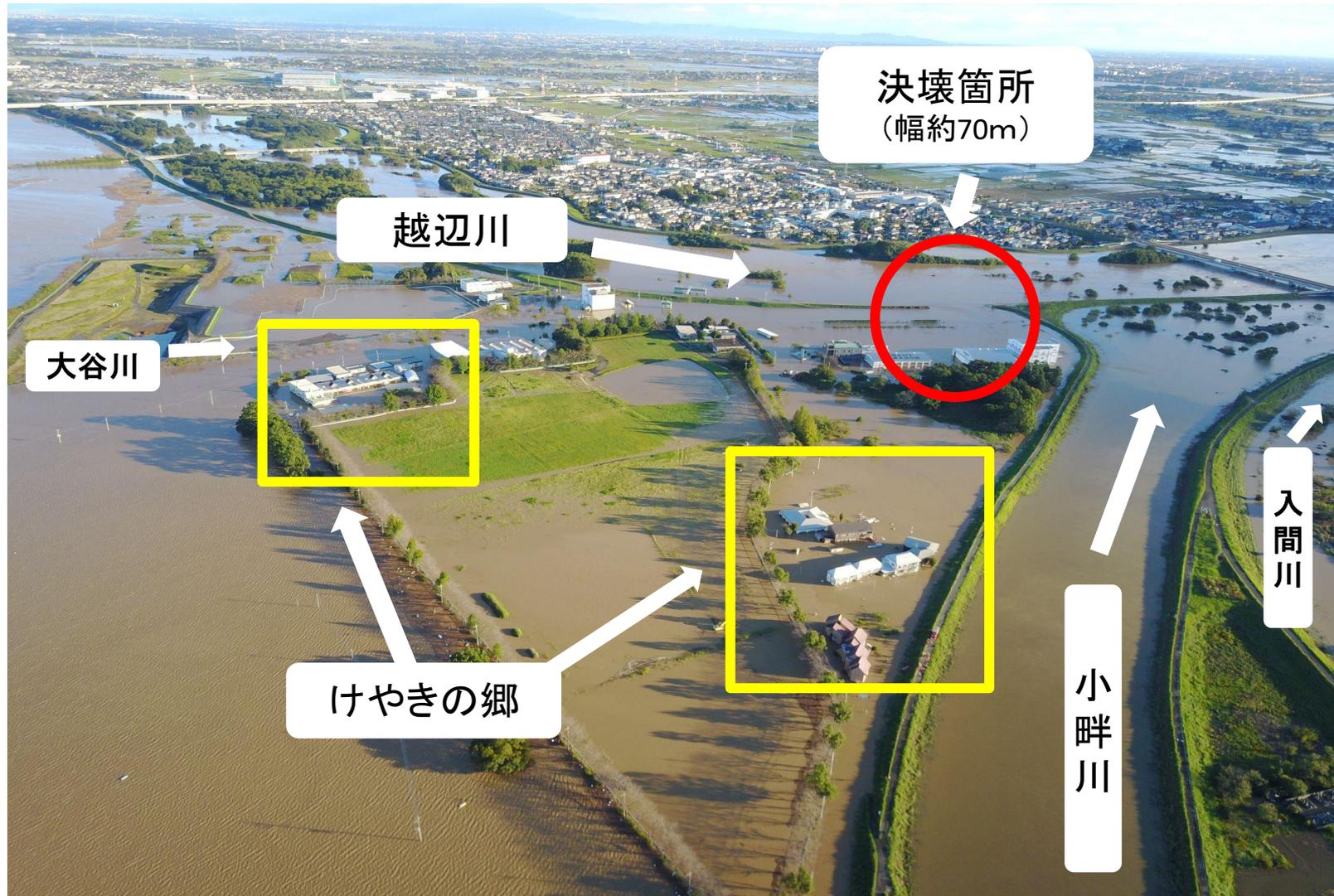
台風19号(令和元年東日本台風)

● 床上浸水の経緯

- ・台風が通過した12日(土)から13日(日)の日付が変わる頃から敷地内に溜まっていた水位が上昇していることに気がつく
- ・「けやきの郷」近くを流れる「越辺川(土手)」の越水が判明(後に「土手の決壊」によるものと分かる)
- ・またたく間に「建物内」への浸水が始まる

※「けやきの郷」においては、「1999年8月」の大雨による浸水被害に続いて2回目の被災となった・・・

台風19号 通過後 (令和元年10月13日 朝)



台風19号 通過後 (令和元年10月13日 朝)



台風19号 通過後 (令和元年10月13日 朝)



台風19号 通過後 (令和元年10月15日)



台風19号 通過後 (令和元年10月15日)



台風19号 通過後 (令和元年10月15日)



台風19号 通過後 (令和元年10月15日)



台風19号 通過後 (令和元年10月15日)



台風19号(令和元年東日本台風)

◆被災状況(「けやきの郷」全体)

- 人的被害・・・なし(利用者・職員ともに・・・)

- 建物被害・・・法人内全事業所

(※「発達障害者支援センター」は床上浸水には至らず)

各建物の機械設備、大型機材、家具、家電等も破損

暴風による建物への一部被害もあり

- 被害総額・・・約4億円

- 復興までの期間・・・約9カ月

台風19号(令和元年東日本台風)

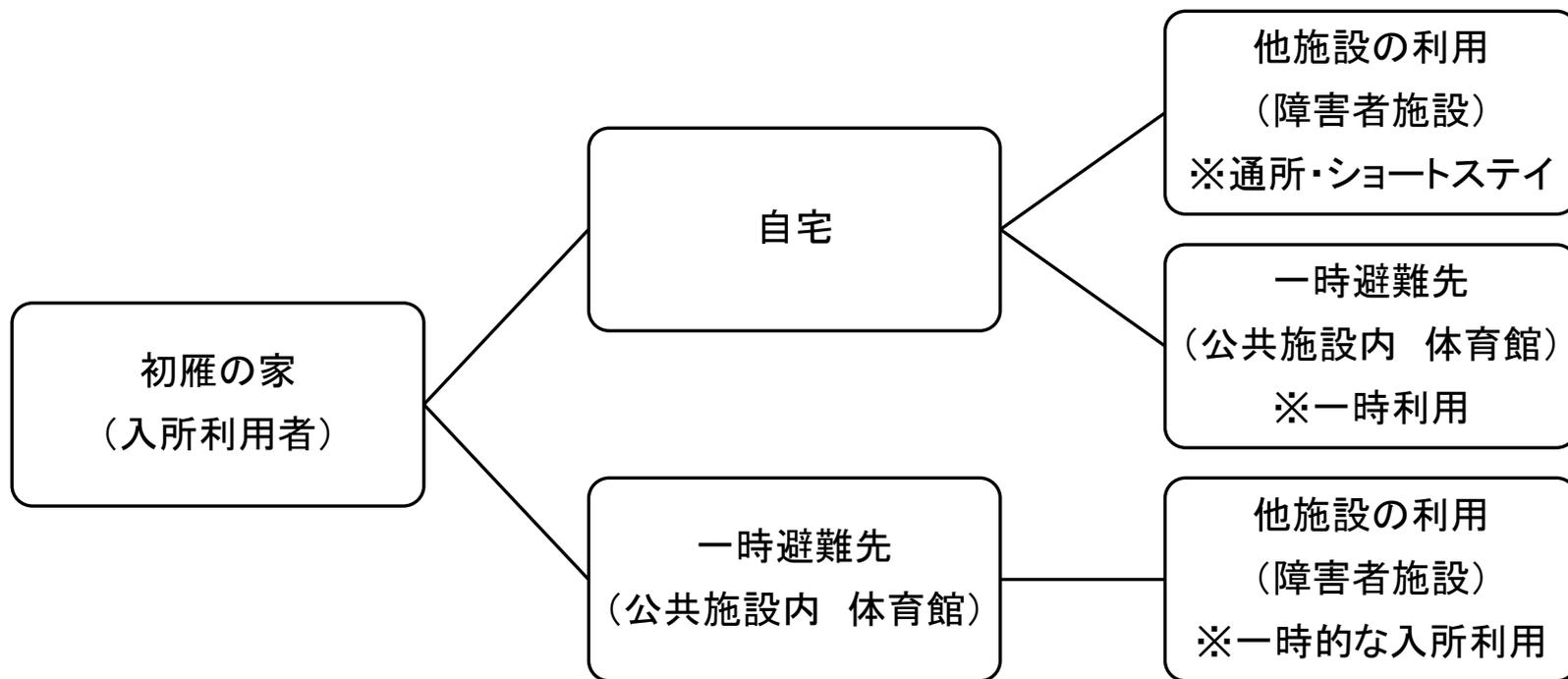
◆被災後の動き・・・

- 利用者支援・・・避難生活の準備・対応 → 外部調整・内部調整
(自宅避難の方も含めて)
通所利用者の利用再開の準備
- 建物等の復旧・・・搬出・清掃活動 → 「ボランティア」の依頼・調整

など

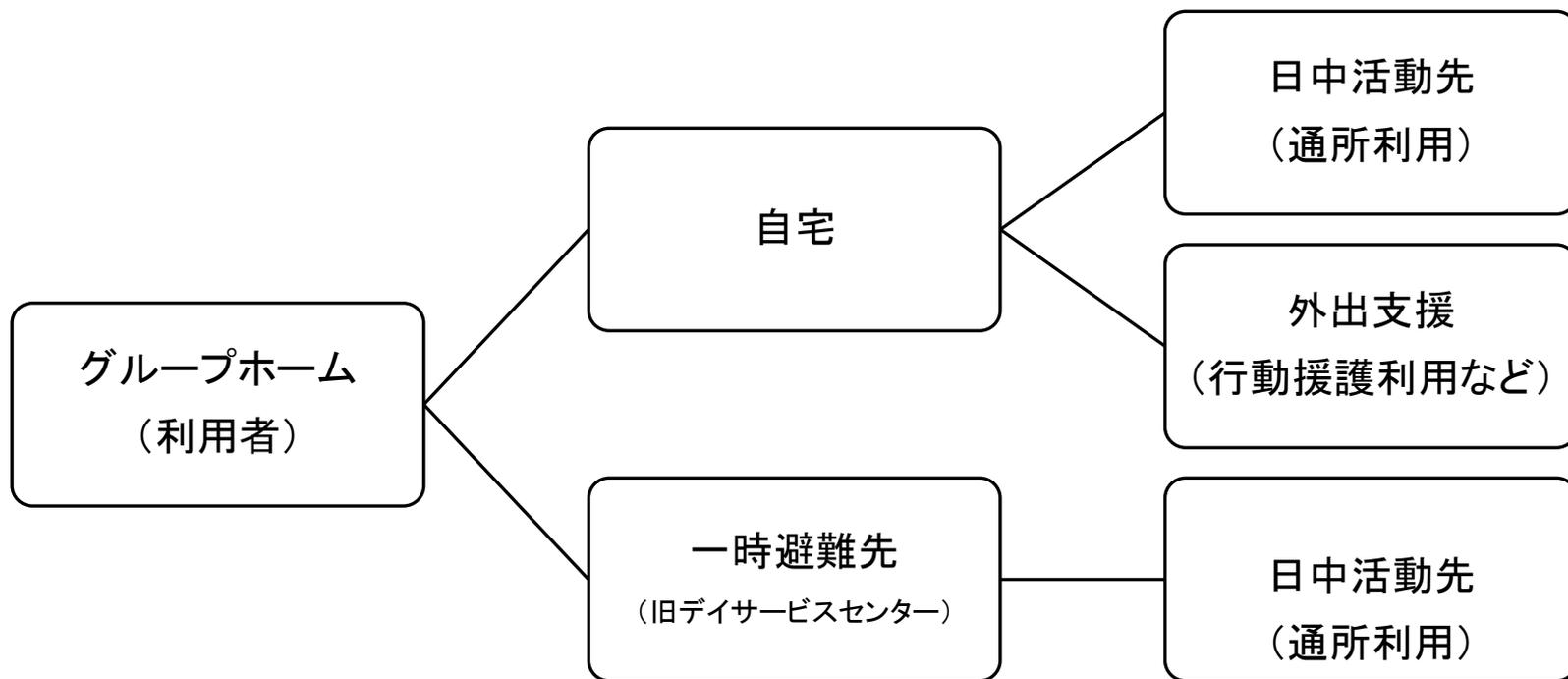
被災後の生活

(入所施設・グループホーム利用者の皆さん)



被災後の生活

(入所施設・グループホーム利用者の皆さん)



被災から復興までの歩み

(けやきの郷利用者の皆さんの生活)

	令和元年 10月～12月	令和2年 1月～3月	令和2年 4月～6月	令和2年 7月
初雁の家 (入所施設)		1月末 日中活動再開	3月末 施設再開	7月 全利用者再会
グループホーム	11月初め 日中活動先への通所再開	3月末 4棟再開	6月末 全棟再開	
やまびこ製作所 (A型事業所)	11月初め 通所再開	3月末 修繕完了		
ワークセンター (多機能型事業所)	11月初 通所再開	3月末 修繕完了		

「被災体験」から考えたこと

(「命」を守るための行動として行うべきこととは・・・)

- 「避難」の判断と実行
 - ・ 「避難情報」や「立地条件」に基づいたタイミングを決めておくこと
- 施設利用者の避難(集団避難)
 - ・ 「避難先」を整えておくこと(自治体との確認・協力体制を図る)
- 「災害(水害)」への備え(避難訓練)
 - ・ 定期的な「避難訓練」を実施していくこと

「長期の避難生活の経験」から考えたこと (自閉症のある方々(その家族も含めて)を支えるためには…)

- 「避難先」での生活の様子から…
 - ・生活空間(構造化)を行うこと
 - ・日中活動と活動先への移動があること(昼夜分離)
- 「一時的な他施設利用」という機会を頂けたことから…
 - ・より良い生活環境の提供ができること
 - ・自宅避難の方にとって利用先があること
- 地域の支援者の協力に基づく支援体制を頂けたことから…
 - ・「災害派遣福祉チーム」による利用者支援の有り難さ
 - ・「各自治体」に所属する相談員の巡回訪問支援の有り難さ

☆自閉症のある方々にとって少しでも安心できる生活環境の重要性

☆「共助」の有り難さ、その協力体制をより強固にする為の推進の必要性

全国の皆様へ

「全日本自閉症支援者協会」会員の皆様をはじめ

全国の皆様には、温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。

私たち、「社会福祉法人けやきの郷」は、皆様に支えて頂きながら
元の地で「再出発」をすることができました。

心からお礼申し上げます。

これからは、私たちも、皆様の支えになれるように歩んで参ります。

今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

み な さ ん
お が え り な さ い

ご清聴ありがとうございました